



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月4日

上場会社名 新内外綿株式会社

上場取引所 東

コード番号 3125

URL <http://www.shinnaigai-tex.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役社長

(氏名) 福井 眞吾

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営業務部長

(氏名) 長門 秀高

TEL 06-4705-3781

四半期報告書提出予定日 平成26年2月6日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年3月26日～平成25年12月25日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	4,084	14.3	132	△5.3	135	△3.8	79	5.8
25年3月期第3四半期	3,573	△4.8	139	54.2	140	57.5	75	72.6

(注)包括利益 26年3月期第3四半期 90百万円 (21.6%) 25年3月期第3四半期 74百万円 (△44.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	4.07	—
25年3月期第3四半期	3.85	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第3四半期	4,484	2,572	57.4
25年3月期	4,325	2,521	58.3

(参考)自己資本 26年3月期第3四半期 2,572百万円 25年3月期 2,521百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	2.00	2.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	2.00	2.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年 3月期の連結業績予想(平成25年3月26日～平成26年3月25日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,000	5.1	200	11.6	200	9.6	120	28.6	6.13

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期3Q	19,598,000 株	25年3月期	19,598,000 株
26年3月期3Q	34,518 株	25年3月期	32,712 株
26年3月期3Q	19,564,339 株	25年3月期3Q	19,565,476 株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	2
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	2
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	2
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	2
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	2
4. 四半期連結財務諸表	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	7
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7
(5) セグメント情報等	7
(6) 重要な後発事象	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、アベノミクスによる経済政策の効果もあり、回復軌道に乗りつつあることは各種の指標からも伺えるところであります。今後の日本経済の当面の最大の課題は、消費税引き上げ前後における景気への影響がどのような形になるかということにつきると思われまます。

このような状況のもとで、当社グループ紡績部門におきましては、「はやいや〜ん」と名づけた小ロット・多品種・短納期生産販売システムにより、新たな販路開拓に努めました結果、当第3四半期連結累計期間につきましては、同部門の売上高は21億55百万円となり、前年同期比70百万円(3.4%)の増収となりました。テキスタイル・製品部門におきましては、当社の得意とするテンセル素材を中心に、各分野への取り組みを進めました結果、当第3四半期連結会計期間においては若干苦戦しましたものの第2四半期連結累計期間までの好調の蓄えもあり、同部門の売上高は19億28百万円となり、前年同期比4億40百万円(29.6%)の増収となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は40億84百万円(前年同期比5億11百万円の増加)となるも、利益面におきましては、円安による輸入原料高の影響もあり、営業利益は1億32百万円(同7百万円の減少)、経常利益は1億35百万円(同5百万円の減少)となりました。法人税、住民税及び事業税並びに法人税等調整額計53百万円を計上しました結果、四半期純利益は79百万円となり、前年同期比4百万円の増益となりました。

また、財務面におきましては、資金需要の集中もあり、有利子負債は2億円となり、前連結会計年度末比で1億55百万円の増加となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の資産につきましては、前連結会計年度末比1億58百万円増の44億84百万円となりました。これは主として売上債権の減少とたな卸資産の増加等によるものです。負債につきましては、前連結会計年度末比1億8百万円増の19億11百万円となりました。これは主として未払法人税等の減少と短期借入金の増加等によるものです。純資産につきましては、前連結会計年度末比50百万円増の25億72百万円となりました。これは主として利益剰余金の増加によるものです。この結果、自己資本比率は57.4%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年4月26日に公表しました、平成26年3月期の通期連結業績予想を変更しておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月25日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月25日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	72,013	65,937
受取手形及び売掛金	1,219,561	1,174,162
電子記録債権	143,581	101,924
商品及び製品	465,423	603,787
仕掛品	45,020	43,259
原材料及び貯蔵品	118,070	238,031
繰延税金資産	31,790	8,214
その他	36,342	76,466
貸倒引当金	△546	△514
流動資産合計	2,131,259	2,311,269
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,811,776	1,809,553
減価償却累計額	△1,556,362	△1,566,905
建物及び構築物（純額）	255,414	242,648
機械装置及び運搬具	2,003,741	2,008,738
減価償却累計額	△1,911,885	△1,934,670
機械装置及び運搬具（純額）	91,856	74,068
土地	1,702,657	1,702,657
その他	157,981	165,176
減価償却累計額	△143,042	△143,528
その他（純額）	14,938	21,647
有形固定資産合計	2,064,866	2,041,021
無形固定資産	12,410	14,144
投資その他の資産		
投資有価証券	8,321	9,461
繰延税金資産	84,610	84,840
その他	26,805	26,520
貸倒引当金	△3,200	△3,200
投資その他の資産合計	116,537	117,621
固定資産合計	2,193,814	2,172,787
資産合計	4,325,073	4,484,057

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月25日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月25日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	646,126	693,554
短期借入金	44,174	200,000
未払法人税等	67,739	6,600
賞与引当金	39,529	10,864
繰延税金負債	—	883
その他	158,313	150,413
流動負債合計	955,883	1,062,316
固定負債		
退職給付引当金	236,453	238,205
長期未払金	9,000	9,000
再評価に係る繰延税金負債	602,203	602,203
固定負債合計	847,656	849,408
負債合計	1,803,540	1,911,724
純資産の部		
株主資本		
資本金	731,404	731,404
利益剰余金	688,527	729,063
自己株式	△3,136	△3,284
株主資本合計	1,416,795	1,457,183
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,475	1,744
繰延ヘッジ損益	3,365	13,508
土地再評価差額金	1,099,897	1,099,897
その他の包括利益累計額合計	1,104,738	1,115,149
純資産合計	2,521,533	2,572,333
負債純資産合計	4,325,073	4,484,057

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年3月26日 至平成24年12月25日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年3月26日 至平成25年12月25日)
売上高	3,573,436	4,084,436
売上原価	2,904,053	3,417,099
売上総利益	669,383	667,336
販売費及び一般管理費	529,438	534,857
営業利益	139,944	132,479
営業外収益		
受取利息	645	751
受取配当金	187	273
為替差益	1,862	—
受取手数料	1,301	3,380
その他	1,034	2,027
営業外収益合計	5,030	6,432
営業外費用		
支払利息	762	1,029
手形売却損	2,472	1,865
為替差損	—	223
その他	960	401
営業外費用合計	4,194	3,520
経常利益	140,781	135,390
特別利益		
固定資産売却益	270	—
特別利益合計	270	—
特別損失		
固定資産除売却損	2,072	2,121
特別損失合計	2,072	2,121
税金等調整前四半期純利益	138,979	133,269
法人税、住民税及び事業税	63,236	35,670
法人税等調整額	454	17,932
法人税等合計	63,690	53,602
少数株主損益調整前四半期純利益	75,288	79,666
四半期純利益	75,288	79,666

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年3月26日 至平成24年12月25日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年3月26日 至平成25年12月25日)
少数株主損益調整前四半期純利益	75,288	79,666
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,248	268
繰延ヘッジ損益	△2,484	10,142
その他の包括利益合計	△1,235	10,411
四半期包括利益	74,053	90,078
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	74,053	90,078
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

(セグメント情報)

前第3四半期連結累計期間（自平成24年3月26日 至平成24年12月25日）及び当第3四半期連結累計期間（自平成25年3月26日 至平成25年12月25日）

当社グループは、繊維事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(6) 重要な後発事象

(株式取得による会社の買収)

当社は、平成26年1月28日開催の取締役会において、J.P.BOSCO CO., LTD. の株式を取得し、子会社化することについて決議し、平成26年1月30日に本件譲渡に関する一連の手続を完了いたしました。

1. 株式取得の目的

当社は海外での事業展開を重要な成長戦略と位置づけております。この事業戦略の中でかねてよりチャイナ・プラスワンとしてタイでの生産機能を拡大し、日本向け製品供給を強化すると共に欧米を含む海外への販売を画策することで、当社の繊維事業のグローバル化への積極的な対応を図って参りました。

このような取組の中で、当社はタイにおいて繊維製品の卸売を行っているJ.P.BOSCO社の株式の99%を取得することといたしました。当社との相乗効果が期待され、当社が得意とするテンセル糸や空糸を使用した製品の安定的な供給と海外市場への販売展開を見込んでおります。

今後も更なる業容拡大と企業価値の向上を目指し、グローバルな事業を展開してまいります。

2. 株式取得の相手先の名称

中野 勝仁

3. 買収する会社の名称、事業内容、規模

- | | |
|----------------------|-----------------------|
| (1) 被取得企業の名称 | J. P. BOSCO CO., LTD. |
| (2) 主な事業内容 | 繊維製品の卸売 |
| (3) 資本金の額（平成24年12月期） | 100,000千円 |

4. 株式取得の時期

平成26年1月30日

5. 取得する株式の数、取得価額及び取得後の持分比率

- | | |
|--------------|------------|
| (1) 取得株式数 | 99,000株 |
| (2) 取得価額 | 370百万円（概算） |
| (3) 取得後の持分比率 | 99.0% |

6. 取得資金の調達方法

金融機関からの借入金及び自己資金